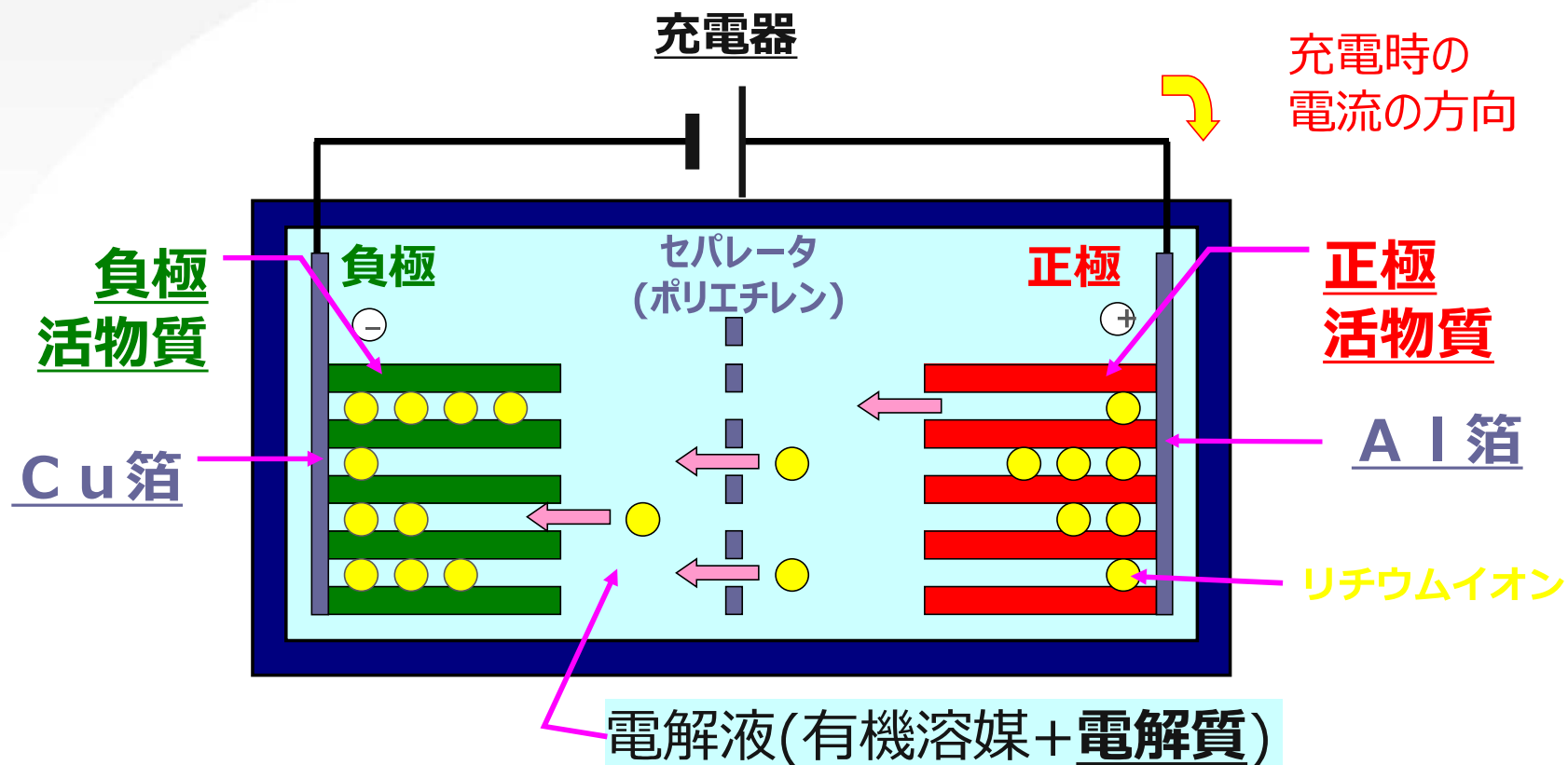


参考

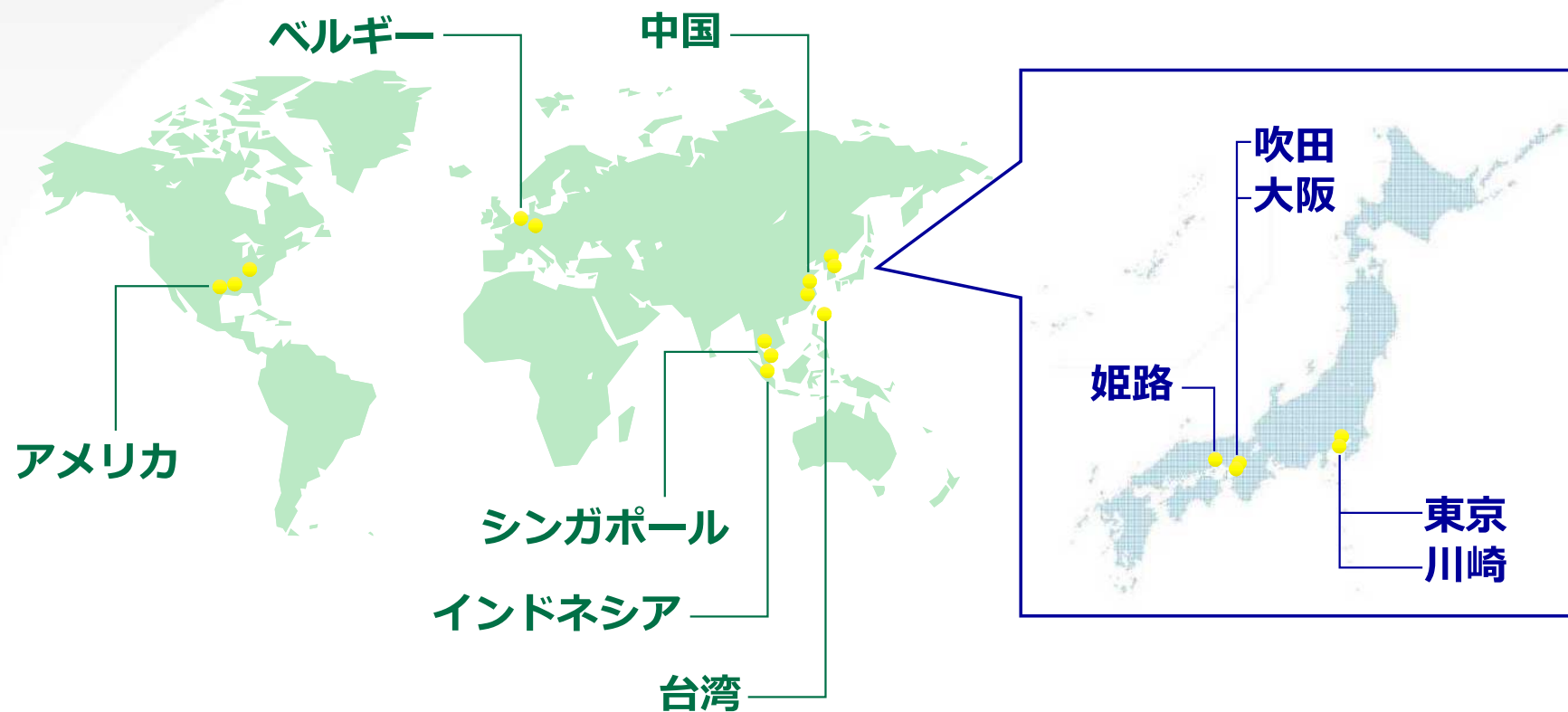
リチウムイオン電池の模式図

日本触媒 



主な事業拠点

日本触媒 



こんなところにも日本触媒①

日本触媒 



工場・プラント

排水処理触媒が活躍しています。

半導体

シリカ微粒子が半導体材料として使用されています。

橋梁

コンクリート混和剤用ポリマーが明石海峡大橋や東京アクアラインなどに使われインフラを支えています。

医薬品

核酸・ペプチドのGMP原薬受託製造を進めています。

こんなところにも日本触媒②

日本触媒 

紙おむつ

高吸水性樹脂が紙おむつ、ペットシート、保冷剤などに使われています。

外壁用塗料

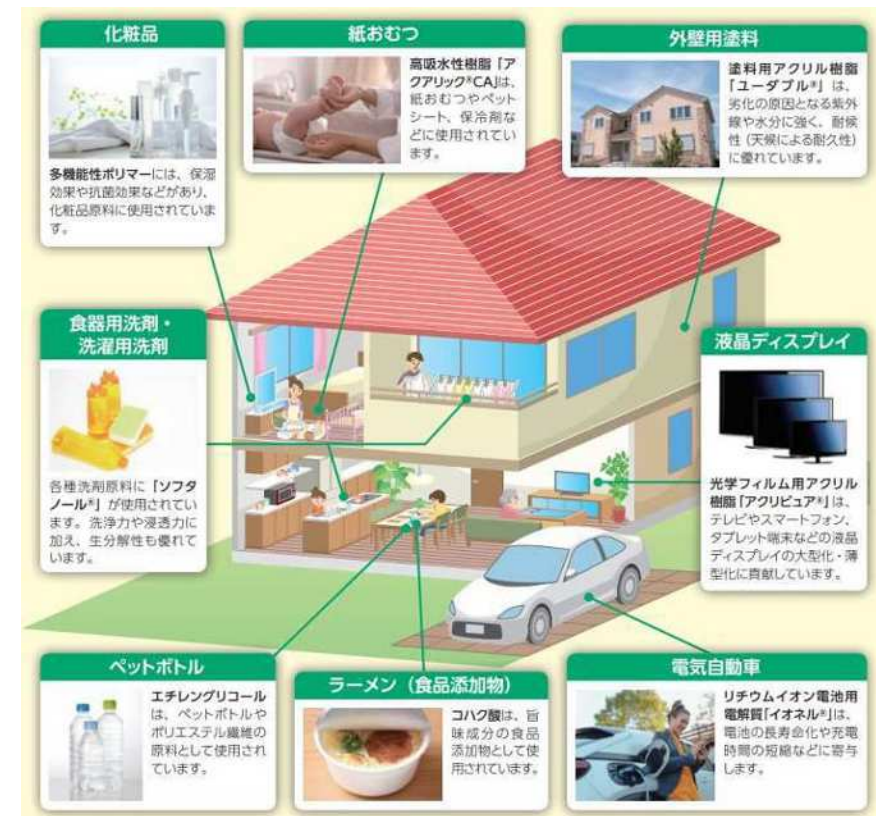
紫外線や水分に強い塗料用のアクリル樹脂が外壁などに使われています。

液晶ディスプレイ

光学フィルム用アクリル樹脂「アクリビュア®」がテレビやスマートフォンなどに使われています。

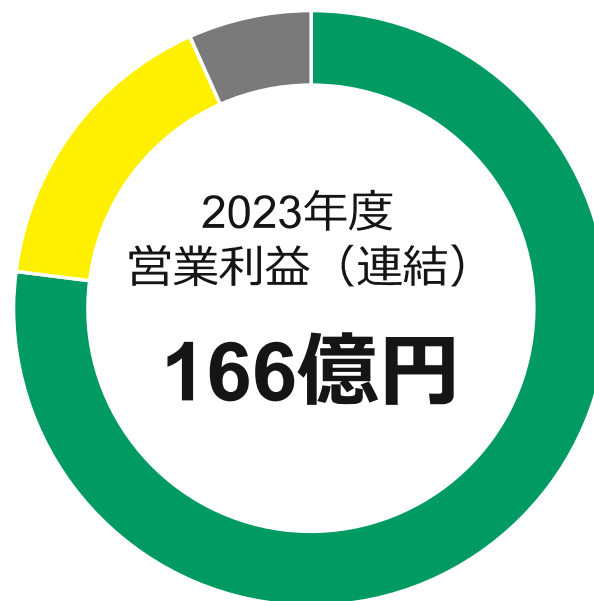
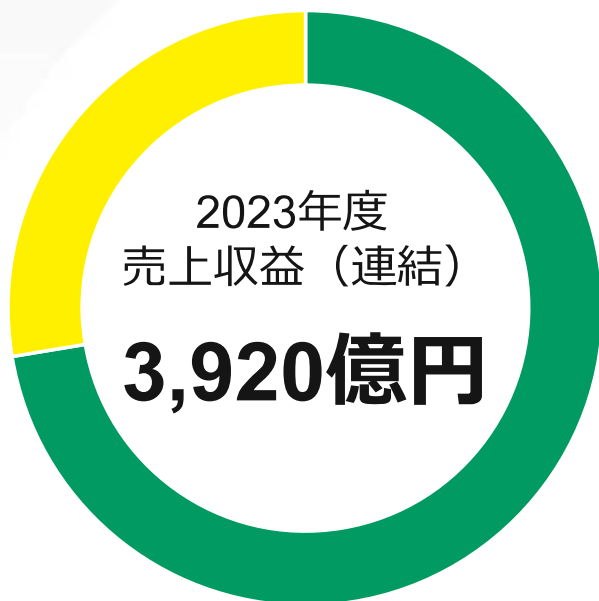
電気自動車

リチウムイオン電池用電解質「イオネル®」が電気自動車に使われています。



2023年度業績

日本触媒 



- マテリアルズ事業
- ソリューションズ事業
- その他（共通）

蓄電池サプライチェーンの強靱化へ大きく前進！

『株式会社日本触媒』が北九州市に リチウムイオン電池素材の製造拠点を建設決定！



この度、高吸水性樹脂の世界トップシェアを誇る化学メーカー「株式会社日本触媒」（本社：大阪府大阪市 代表取締役社長 野田 和宏）は、リチウムイオン電池用の電解液素材である LiFSI（リチウムビス（フルオロスルホニル）イミド、製品名「イオネル」）の製造工場の建設を北九州市に決定しました。

LiFSI はリチウムイオン電池の主要4部材の一つである電解液の素材として使用され、同社は2013年に世界で初めてその高純度化、高品質化に成功しました。同社の開発した LiFSI 「イオネル」は電池の電池寿命向上や高温・低温環境下での安定稼働、電池の膨れ抑制や破壊時の発火抑制といった安全性の向上を実現し、リチウムイオン電池、とりわけ EV 用蓄電池の性能向上に大きく貢献する物質として期待されています。

また今回の計画は、蓄電池のサプライチェーン強靱化に資するものとして、経済産業省の「蓄電池等の安定供給確保のための取組に関する計画（供給確保計画）」として認定されています（令和6年9月6日付）。

北九州市としましては、蓄電池や半導体といった未来型成長産業の誘致による「稼げるまち」の実現、および EV 普及促進によるカーボンニュートラル推進に寄与する今回の進出を大いに歓迎するとともに、地域経済の活性化と持続可能な社会を目指し、環境先進都市としての歴史からさらに一歩踏み込んだ「世界をリードするサステナブルシティ」への実現に向けて着実に歩みを進めてまいります。

記

1 立地協定締結式概要

(1) 締結者

株式会社日本触媒
北九州市長

代表取締役社長 野田 和宏
武内 和久

(2) 次第

- ① 市長挨拶
- ② 株式会社日本触媒 ご挨拶及び進出概要説明
- ③ 立地協定締結（署名）

- ④ 質疑応答
- ⑤ 記念撮影

2 進出概要

立地場所：若松区 響灘地区
敷地面積：約 65,000 m²
投資額：約 375 億円
雇用人数：約 50 人（予定）
運転開始：2028 年 7 月（予定）

3 企業概要

株式会社日本触媒	
代表者	代表取締役社長 野田 和宏
本社所在地	大阪府大阪市中央区高麗橋四丁目 1 番 1 号 興銀ビル
設立	1941 年 8 月
資本金	250 億 3,800 万円
従業員数	連結 4,607 名 単独 2,491 名（2024 年 3 月末時点）
事業内容	化学製品の研究開発・製造
事業拠点	本社：大阪、東京 製造所：姫路、川崎 研究所：吹田、姫路、川崎 日本触媒グループとしては、アメリカ、ベルギー、インドネシア、シンガポール、中国、台湾など、国内外に多数の拠点を展開しています。

ピックアップ

- ◎高吸水性樹脂世界シェアトップ（約 25%）の化学メーカー。世界の約 4 分の 1 の紙おむつに日本触媒製の樹脂が使用されている。
- ◎NTT コミュニケーション(株)と、これまで困難とされてきた化学品製造工程の、熟練運転員の操作を学習した AI による自動運転に成功。運転員の負荷軽減と技能継承プロセスの効率化を見込む（2025.2）。
- ◎北九州市立大学他 6 社と連携して「使用済み紙おむつマテリアルリサイクルのライフサイクル評価」を実施。紙おむつ主要部材の再資源化により、焼却処理に比べ大幅な二酸化炭素の削減を確認したことを発表（R7.3.31 発表）
- ◎日本政策投資銀行の「DBJ 環境格付」において、2008 年、2012 年、2017 年に引き続き 2023 年も「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得。

【問い合わせ先】 産業経済局企業誘致課
課長：浦 係長：久我 電話：093-582-2065